

東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会

FAX ニュース

vol. 14

送信元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 FAX:03-3268-0635

E-mail : kourei@tcsw.tvac.or.jp

HP:http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/zigyousya.html

◎このニュースは、東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会の会員事業所である居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護予防サービス事業者等のみなさまに東京の高齢者在宅福祉・介護に関する最新の動向、各会員の取組み、会員向けの研修会やイベントをお届けします。

ニュース

介護労働者の現状と今後の取組みに向けた動き

[通常国会の介護保険]

今年の通常国会は、1月22日から6月20日までの予定です。衆議院では2月28日、2018年度予算案が与党の圧倒的多数で可決されました。加藤勝信・厚生労働大臣は、衆議院本会議（1月24日）で、介護労働者の給与は「全産業平均と比べて2008年では約11.3万円、2016年では約10.5万円」低いと答弁しました。また、参議院の予算委員会（3月1日）では、「有効求人倍率全体は2017年12月が1.59倍、介護関係職種は4.22倍となっております。ただ、都道府県で見ると、東京都を主体にかなり高いところと、まあそれほどでもないという地域差もある」と答弁しました。

[「高齢社会対策大綱」の閣議決定]

2月16日、政府は「高齢社会対策大綱」を閣議決定しました。5年目の見直しですが、介護保険制度関係では、介護予防（健康寿命を2025年までに2歳以上伸ばす）、介護職員の確保（2020年代初頭に231万人）、介護離職の解消などが盛り込まれています。

(市民福祉情報オフィス・ハスカップ 小竹雅子)

※社会保障審議会の傍聴などに基づくメールマガジン「市民福祉情報」の無料配信、介護保険に関するセミナー、電話相談等を行っている市民福祉情報オフィス・ハスカップの小竹雅子さんが在宅福祉をめぐる最新の動向・施策をわかりやすく解説します。

Pick UP～わたしの街の会員事業所～

たすけあい大田はせさんずヘルパーステーション (大田区)

1996年2月に、年をとっても住み慣れたこの町で暮らしたい、手助けを必要とする人と手助けができる人が会員となり、安心して暮らせる地域社会の実現を願って「たすけあい大田はせさんず」が発足しました。助け合い活動を中心に介護保険や障がい福祉サービスを提供しています。NPOとして地域に根差した“ふれあい”のあるサービスを心掛けています。また、はせさんず独自の介護予防“元気かい”は、16年目を迎えました。近年は市民後見活動や居場所“寄り道カフェ”も行っています。

棧敷 洋子



連絡会からのお知らせ

役立イベント・研修会等のご案内!

平成29年度第2回総会開催! ～介護報酬改定から考える在宅介護とは～



2月20日に第2回総会を開催し、137名が参加しました。講演会では、青木正人さん(株式会社ウェルビー代表取締役)と中村秀一さん(国際医療福祉大学大学院副大学院長)の2人から平成30年度の介護保険報酬改定の動向と今後の展望についてポイントをしばってお話いただきました。終了後は、会員同士の場として懇親会を開催し、じっくりと話し合う機会となりました。次年度、第1回総会は平成30年5月に開催予定です。

次年度、第1回総会は平成30年5月に開催予定です。

▼会員 対象

3月27日(火) 19:00～21:00 BASE POINT (西新宿)	CLUB POPCORN 定例ミーティング ※若手福祉・介護職員の活動の場
4月26日(木) 19:00～21:00 飯田橋セントラル プラザ	小規模研修 「小規模事業所における経営の向き合い方」(仮) 講師 小山秀夫さん(兵庫県立大学経営学部教授)